

北海道身体障害者新聞

発行人
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
会長 藤田 孝太郎
札幌市中央区北2条西7丁目(かでの2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
隔月 25日発行
会員購読料(年) 90円
(会費に含む)
非会員 同 2,000円

第71回 全道身体障害者福祉大会紋別大会

令和5年9月23日(土)、紋別市において、第71回全道身体障害者福祉大会紋別大会を、北海道身体障害者福祉協会と紋別市身体障害者福祉協会が主催となって、開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、全道身体障害者福祉大会の開催は、4年ぶりになります。



約210名の方々が参加してくれました。

最初に物故者に黙祷を捧げた後、大会長を務める北海道身体障害者福祉協会の藤田会長(紋別市身体障害者福祉協会会長)から挨拶があり、一昨年に成立した改正障害者差別解消法が来年4月に施行となり、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されることに触れ「法律の実効性を高めるためには、地域において心のバリアフリーの理解を深め普及していくことがますます重要となっていること。活動の支援をいただいている関係団体・企業等とともに北海道に根差した心のバリアフリーを広げ、障害者差別のない誰もが住みやすい地域社会を目指し、一層努力したい」と決意を述べました。

開催地からは、宮川市長が、全道各地からの参加者を歓迎するとともに「障害者の相談支援体制や就労支援等を強化し、住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、より一層の努力が必要と考えている。」と思いを語りました。

この後、障害を克服して、自立活動に励んでこられた方や永年にわたり、障害のある方々の更生援護に尽くされた方に北海道善行賞が贈られ、受賞者8人のうち、大会に出席した4人に道オホーツク総合振興局の中島局長から表彰状が伝達されました。

北身協からも自立更生者9人と援護功労者14人に対し、会長表彰が贈られ、出席した6人に藤田会長が表彰状を手渡しました。



会長表彰を贈られたみなさん

来賓からは鈴木直道知事の祝辞を中島局長が代読。表彰者をねぎらうとともに「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が、昨年5月に施行され、すべての国民が、障害の有無にかかわらず、お互いに人格と個性を尊重しながら、共に生きて

いく社会の実現に向けた動きが加速している」また、「誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、市町村・支援団体などと連携しながら施策に取り組み」とのメッセージが寄せられました。

富原北海道議会議長からは「障害のある人がどこに住んでいても自分らしく安心して暮らせる社会が実現するよう道議会として全力で取り組む」旨の祝辞を述べられました。

鈴木紋別市議会議長からは、「障害の有無にかかわらず、一人ひとりがお互いの人格や個性を尊重しながら、共生できる社会の実現に向け、より一層努力する」旨の祝辞を述べられました。

大会では、道内全ての聴覚障害者が要約筆記を利用できるようにするための体制づくりや、医療的ケア児支援センターの複数設置、バス等に対する高速道路の福祉割引の拡充などを道など関係機関に要望していくことを決議しました。

また、障害によって分け隔てられることなく、誰もが安全安心に暮らせる地域共生社会の実現を目指し、一致団結して行動することを旨とする大会宣言を承認しました。

来年の大会は、釧路管内弟子屈町で9月頃の開催を予定しています。

「障がい者パソコン教室」
砂川身体障害者福祉協会

7月19日(水)・20日(木)に、砂川市地域交流センター「ゆう」で、障害者パソコン教室を開催し、2日間で10名の方が参加しました。講師には、毎年お願いしている平澤日出夫氏をお迎えしました。パソコンの技術力アップと、作品づくりでは思い思いの画像やイラストをプリントしたオリジナルTシャツを作りました。



パソコンの技術力アップに真剣です。

暑い中、みなさん真剣にパソコンの画面と向き合い取り組みながら、参加者同士の親睦・交流も図られ、有意義な時間となりました。

「障がい者パソコン教室」
美唄身体障害者福祉協会

8月22日(火)に、美唄市総合福祉センターで、澁谷茂氏を講師にお迎えして、障害者パソコン教室を開催しました。1日開催でしたが、8名の参加者がありました。

どんなハガキにしようかな。



パソコンの基本的な操作を学んだり、各自好きなデザインでオリジナルのハガキを作りました。



みんなで一緒に記念撮影！

「障がい者パソコン教室」
伊達身体障がい者福祉協会

8月30日(水)・31日(木)に、だて歴史の杜カルチャーセンターで、障害者パソコン教室を開催しました。伊達市での開催は初めてでしたが、2日間で18名の参加がありました。

講師には、パソコンボランティアプラザ室蘭の西野美樹子氏と工藤恵美子氏と榎本吉幸氏をお迎えし、初めての参加者が多い中、パソコンの基礎から丁寧に教えていただきました。後半は、各々選んだ画像や写真などを使ってうちわ作りをしました。



作品と一緒に記念撮影

「障がい者パソコン教室」
帯広身体障害者福祉協会

9月4日(月)・5日(火)に、帯広市グリーンプラザで、講師にワークフロア清柳の齊藤雅博氏をお迎えし、障害者パソコン教室を開催しました。



熱心に教えていただきました。

1日目は、参加者が事前に学びたいことや講師に聞きたいことを各自まとめてきたりデータを持参してきてくれたので、参加者それぞれに沿った内容となりました。2日目は、好きな画像やイラストをデザインしたオリジナルのカレンダー作りをしました。できあがった個性あふれる作品をお互い見せ合い、会話が弾んで楽しい時間となりました。

檜山地区身体障害者福祉協会
第49回檜山管内身体障害者
スポーツ大会

令和5年7月4日(火)、町のシンボル奇岩「三本杉岩」で有名な檜山北部に位置するせたな町にて「第49回檜山管内身体障害者スポーツ大会」を開催しました。

今回は、NPO法人南檜山あゆみ共同作業所の利用者も加わり、北海道檜山振興局より今井くらし・子育て担当部長、せたな町より高橋町長等の来賓も含めて67名の皆さんが集まり、広々としたアリーナにて熱戦と親睦を図りました。

競技種目を3種目へ絞り、観戦することの楽しみも加えてゆとりのある時程で進めました。



1種目目「ゲーリング」



参加者に大人気の「棒サッカー」

第1種目「ゲーリング」、第2種目「ゆつくりはやく」と続き、第3種目は昨年に続き新種目2回目の「棒サッカー」と移りました。今回もどうしてもやりたいという希望が強く、ルールを工夫し実施しました。手作りスティックの塩梅も大変よく、延長戦も交えながら楽しく競技することができました。結果は、上ノ国町・南檜山あゆみ共同作業所合同チームが優勝、準優勝はせたな町Aチーム、3位は乙部町チームとなりました。来年は阿部会長の所属する乙部町にて開催されます。会員の皆さんは今から待ち遠しいと話していました。

十勝地区身体障害者福祉協会
第56回十勝地区身体障がい者
スポーツ大会

猛暑日の中、7月26日池田町総合体育館で開催した大会は、熱中症を防ぐため競技内容を一部変更し、時間を短縮しながら管内13町村152名が参加しました。

開会式では、齊藤徹大会長から(十勝地区身体障害者福祉協会会長)「分会の会員同士、町村の垣根を越えて交流し、多くの仲間を作り、明日からの生活をより豊かなものとすることを目的としておりますので、くれぐれも怪我のないよう、楽しく競技していただきたい。」と、あいさつがありました。

開催町の安井美裕町長から歓迎の言葉をいただいたのち、引き続き池田分会の横田栄子さん、田岡正子さんの選手宣誓後、競技に移りました。

種目はポッチャ、魚釣りゲーム、じゃんけん選手権の3種目のうち、ポッチャは町村分会対抗のトーナメント形式で行い、決勝では同点となった分会の代表同士が1回投げて決着をつけることとなり大変盛り上がりました。魚釣りゲームは、時間内に何匹

釣れるか競い、最後の種目はじゃんけん選手権を行いました。体育館内は会場の熱気もあり閉会式後には気温もさらに上昇してきましたが、参加された皆さんは疲れを見せることなく笑顔で元気に帰って行きました。

暑い中、がんばりました。



運営には地元高校生等42名のボランティアも参加し、運営の協力をいただきました。

文芸

俳句

岩見沢市

池田 敏雄

秋空へ届けとタクト交響詩

面影の母に十葉咽びけり



美唄身体障害者福祉協会
第45回美唄市福祉スポーツ大会

令和5年7月8日、爽やかな青空のもと、美唄市総合体育館の前庭にて「第45回美唄市福祉スポーツ大会」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年から令和4年は中止となっており、今回は4年ぶりの開催となりました。

大会には300名弱の参加者が集まり、30℃超えの暑さの中での開催でしたが、救護スペースの出番もなく、元気に福祉スポーツを楽しむことができました。

美唄身体障害者福祉協会からは11名の参加者が集まり、それぞれ参加しやすい種目を選んで参加することができました。

的をめがけて、珠を投げます。



計7種類の福祉スポーツはどれも個性的な名称で、「一目会ったその日から、恋の花咲くこともある」など、名前を聞いただけではどのような種目か想像がつかない種目もありましたが、それすらもスポーツを楽しむ一要素となりました。(この種目は男女それぞれに分かれ、1枚のカードを引き、同じ柄のカードを手にした人同士が赤い糸代わりのテープを両端で持ってゴールに向かうというもの)。



快晴に恵まれ、楽しいひとときを過ごしました。

協会のメンバー同士だけではなく、それ以外の参加者とも一つのスポーツを一緒に楽しみ、一緒に笑う。暗い話題が纏わりつこうとも笑いの風で吹き飛ばせるような、素晴らしい大会になりました。

一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社
札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬
札幌市中央区北五条西十一丁目六
電話代表(011)241-0986番

有限
野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(011)221-1406番

株式会社
馬場義肢製作所
函館市豊川町一五の一七 ☎0138-31615番
札幌市北区太平七条二丁目 ☎011-741303番
室蘭市母恋北町一の三の六 ☎0143-35529番
釧路市富士見一の五の九 ☎0154-413546番

株式会社
田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(011)277-2777番
帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(0155)271-249番

安心と実績で全道をネットする
認定補聴器専門店-
岩崎電子 補聴器センター
本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド
札幌駅前店 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H-Sビル1F
新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F
手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目
元町店 札幌市東区北22条東16丁目1-10 メーブル元町1F
旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F
函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル
苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1
室蘭店 室蘭市中町3丁目25-1 Tビル
お問い合わせ 0120-231-282
フリーダイヤル
本営業部 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目南東カド

有限
岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘四丁目三二二-11四六
電話代表(0122)231-1550番

バッグの製作・修理等・革製品で
お困りの方はご相談ください

NPO
法人
砂川つばさ

TUBASA
砂川市東五条南四丁目二一十二
F 電話(011)255-5212
A 電話(011)255-7416
X 電話(011)255-7416
FAX(011)255-7416

だれもが住み良いまちづくりを応援します
ご利用者様と共に歩める介護ヘルパー募集中!
特定非営利活動法人

HOP
ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北十四条東十四丁目二五 光星ビル
TEL(011)748-1620
FAX(011)748-1621

◆障害者支援施設
◆障害福祉サービス事業所
◆特別養護老人ホーム
◆障害児通所支援事業
◆救護施設 他
施設利用、見学等をご希望の方は
お気軽にご連絡下さい
社会福祉法人
北海道光生舎
☎079-1135
赤平市錦町2丁目6番地
TEL 0125-32-3221

障害者支援施設

社会福祉法人
北海道宏栄社

〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話(011)341-2511
FAX(011)341-2913

会員募集中!!

北身協では札幌と旭川を除く全市町村で
身体障害者活動にご理解いただける会員を
募集しております。
詳しくは市町村役場障がい担当窓口まで!!